

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

FSC環境共生の家づくり

グループの名称

諸塚村産直住宅ネットワーク

直近採択グループ番号

04-0667-0765

(グループ代表者)

代表者名

黒木 雅文

代表者印

代表者所属先

耳川広域森林組合

代表者所在地

宮崎県東臼杵郡諸塚村家代6183-1

代表者電話番号

0982-65-1116

(グループ事務局)

事務局事業者名

諸塚村産直住宅推進室

事務局担当者名

矢房 孝広

印

事務局郵便番号

883-1301

事務局所在地

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683

事務局電話番号

0982-65-1116

事務局FAX

0982-65-0032

事務局担当者E-mail

t.yabusa@morotsuka.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	5棟				
			650㎡				
		申請が未確定	4棟				
			450㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)							
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) FSC環境共生の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 諸塚村産直住宅ネットワーク	(結成年) 1999年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0667-0765	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	長期優良住宅の仕様を守りながら、木の内装空間を重視することで、湿度を吸収し、体感温度の緩和につながる木の良さを活かした家づくりを進める。また、住宅に使われる地域材は、環境負荷が少なく、高品質の材が得られる葉枯らし自然乾燥材を主用材として活用した環境にやさしい家づくりを重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・標準設計図書及び標準見積書の作成及び施主への提示。 ・地質に応じた地盤調査を選定し実施。 ・諸塚村で生産されるFSC森林認証材を採用し、持続可能な森林から生まれ、品質・性能・強度に関する厳しい管理の工程を経て生産されるトレスビリティーの明確な木材を優先して使用することで、地球環境保全と住環境の高品質化を実現する。 その上で、地域材の取り扱い事業者による出荷証明と地域型住宅のルールを順守する事に賛同した事業者がグループメンバーとなっている。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	長期優良住宅の仕様を取り入れつつ、断熱効果だけに期待するのではなく、高温多湿の風土に適合した開放性のあるデザインを尊重するとともに、太陽の光や通風など自然の力を使ったパッシブデザインを積極的に採用する。	◎
④①～③の背景	九州は、年間降雨量が2000mmを超える高温多湿型の気候。四季による気温湿度の変化が顕著で、梅雨時の高温多湿、夏の暑さ、秋の台風、冬の乾燥などに配慮が必要。夏の気候に合わせた軒の深い家や台風の風雨に対応した家が求められる。 森林資源が豊かで、その植生や環境に配慮した外観への配慮も重要である。高温多湿で育が良いため、40～50年で適性伐期を迎える早生系のスギ、ヒノキが中心だが、諸塚村は、冬には水点下、積雪もある気候にあるため、粘りと強度も備えたしなやかな素直な木材である。 さらに諸塚村は、計画的で適正に管理され、FSC森林認証を取得しており、それを高度な技術を持つ日本一の耳川広域組合の工場	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・柱は120mm角以上の材を使用する。 ・桁、梁の横架材は幅120mm高さ120～300mmの30mmピッチ ・長さ3、4、6m	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 自然素材を優先使用～板壁、珪藻土、シラス壁等	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 自然素材を優先使用～板壁、珪藻土、シラス壁等	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 中小の工務店のグループのため、完全な統一したものは難しいが、勉強会等の計画を立て実施し、生産の合理化に向けての、情報の共有・共通化を図る。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記勉強会等を実施する調整役として、事務局が積極的に取り組む。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域型住宅は、長期優良住宅認定・設計性能評価の取得において、未経験の構成員が含まれている。その対応として、設計グループ構成員によるサポートや仕様説明会・施工・設計に関する勉強会等の計画を立て実施し、個々の施工基準の共有・共通化を図る。 ○施工グループの内、長期優良住宅の現場での勉強会の実施 ○未経験者の不安・疑問に対処する相互のアドバイス・情報交換 ○設計グループを中心とした設計仕様委員会の設置と仕様説明会を必要に応じて実施	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) FSC環境共生の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 諸塚村産直住宅ネットワーク	(結成年) 1999 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0667-0765	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 住宅履歴情報の蓄積		
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の長寿命化に向けて履歴情報の蓄積、グループとしての点検内容・診断基準の設定を行い、すまい手の安心と信頼を確保する。 ○事業者において住宅履歴情報の管理を実施。	○
①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域性や実績の度合い、施工規模も違うため、施工グループ各社での管理が中心となる。このこと自体での大きな問題は生じていないが、今後の長期優良住宅の供給の安定のために、住宅履歴情報については、必要に応じて事務局からの照会が出来る様にする。	○
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○住宅履歴情報蓄積の義務化 ○引き渡し後30年後までの維持管理保全計画書の作成と活用およびメンテナンス実施時期の設定(1年・3年・5年・10年・20年・30年)	○
②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事業者において住宅履歴情報を管理するが、必要に応じて事務局にて情報収集を行う。	○
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年数回住まい手参加のイベントを行い、会員参加の住まいの相談会を実施する。	◎
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年数回住まい手参加のイベントを行い、会員参加の住まい手ができる木工教室を実施する。	◎
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年数回住まい手参加の木材産地ツアーを実施し、森林から家づくりまでがつながる機会をつくる。	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者の廃業や業態の変化に対する対応は、施工事業者の選定、信頼の確保に対してグループとして以下の取組みを行う。 ○引き渡し後30年後までの維持管理保全計画書の作成と活用およびメンテナンス実施時期の設定(1年・3年・5年・10年・20年・30年) ○住宅完成補償への加入 ○事務局にて情報収集を行い、関係者と対応を協議する。	○
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 建築業者向けの勉強会への積極的な参加を推奨するとともに、会員工務店同士の見学会などに相	○
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の勉強会等を実施する。 ○グループ事業者等の長期優良住宅の現場見学会などの勉強会の実施 ○グループ事業者等の設計・施工・仕様作成・見積等に関する研修の実施	○
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心にSNS情報ネットワークを構築し、情報を共有し、積極的な取組を推奨する。	○
③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 1	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 1	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の各種研修会の実施と参加を推奨	○
c		
① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	

	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
--	---	--	--

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) FSC環境共生の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 諸塚村産直住宅ネットワーク	(結成年) 1999年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0667-0765	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>① 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>□ 50%未満 □ 50%以上 ■ 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>主要構造材 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: □ 使用していない ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: □ 使用していない ■ 使用している 板材 壁板、床板等: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>【補足】地域型住宅の地域材の供給の流れ ○ 一部、施工グループの構成員では、全て手刻みによる加工を行うためプレカットをしない場合がある。 また、一部流通グループを介さずに、直接地域材の調達を行う場合がある。</p>	◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	◎
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

カ. その他

【平成29年度対応方針】	◎、○ 記入欄
--------------	------------

東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組	木組みの仮設テントの資材提供をおこなっているほか、グループの建築事業者が、積極的に復興支援に取り組んでいる。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> FSC環境共生の家づくり	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 諸塚村産直住宅ネットワーク	<small>(結成年)</small> 1999 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0667-0765	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。